

院長の独り言

～近い将来、世界から現金が消える!?!～



あけましておめでとうございます。今年も静仁会静内病院は患者さんにしっかり寄り添って、地域医療に貢献してまいります。

2017年11月27日付けの毎日新聞にこんな衝撃的な見出しの記事が乗りました。「フィンテック スマホ決済、現金消えた スウェーデン、パンも献金も」スウェーデンでは、2012年からスウィッシュという大手6銀行が共同経営する決済アプリで、携帯電話番号と銀行口座がひも付けされているので、店での支払いや個人間のお金のやり取りがスマホを使って瞬時にできます。

スウェーデンでは、国民の半数が使い、19~23歳の利用率は95%に達し、財布に現金を入れていない人は15%に達します。ATMが撤去され、銀行の支店の半分以上が現金を扱わないので、銀行強盗が現金のない支店を襲撃したが何にも取るものがなかったそうです。バスや電車やタクシーでも現金は使えず、「現金支払い禁止」という告知板を置いたカフェやレストランも多くなっています。一番困っているのは物乞いです。みんな現金を持ち歩かないので施しがもらえないのです。ただ、この変化についていけない高齢者は困っているようです。



日本では、大手3銀行が検討を始めたばかりで、かなり遅れています。しかし、コンビニでは電子マネーがかなり普及してきましたし、ビットコインのような仮想通貨の世界の取引額の6割が日本なのです。ビットコイン対応の店が増えていて、ビックカメラ、メガネスーパー、エイチ・アイ・エスなどが対応を始めています。売り手と買い手の直接取引が普及しますと、様々な仕事が消えると言われていきます。公務、銀行、通販業者、反社会的勢力などです。お年玉もスマホでやり取りするようになるかもしれません。日本は世界で初めて法律で仮想通貨を位置づけました。壮大な社会実験はもう始まっています。今から少しでも現金を使わない生活を考える必要があると思います。